

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	「介護美容セラヴィ」
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 西区事務所
3	協力団体	介護美容セラヴィ
4	活動年月日	令和6年8月8日
5	活動場所	西区役所1階C会議室
6	内容	介護美容についての理解を深める

7 活動の様子

～介護美容とは？～

介護美容とは、高齢者施設等に訪問し、メイクやハンドケアなどの施術を行うことです。見た目が整うことで、自己肯定感を高めることなどが期待されています。



～参加者の声①～

- ・施術だけでなくコミュニケーションの大切さを学びました。
- ・コロナ禍で忘れていた人の手の温かさを思い出しました。

～参加者の声②～

- ・簡単そうに見えたけど意外と難しい！
- ・家に帰ったらおばあちゃんにやってあげたい！



～介護美容セラヴィ・代表より～

初めての試みでとても不安でしたが、参加者の皆さんが真剣に取り組んでくださり非常に嬉しかったです。今回の体験を機に、介護美容に興味を持っていただければ幸いです。

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	チム・チムセタ☆子ども食堂
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 北区事務所
3	協力団体	チム・チムセタ☆子ども食堂
4	活動年月日	令和6年9月27日、令和6年9月28日
5	活動場所	日進公園コミュニティセンター
6	内容	子ども食堂開催に向けた調理準備、ワークショップの補助

7 活動の様子

参加者の声

食のありがたみや楽しさについて考えさせられたとても貴重な体験になりました。

子ども食堂は多くの企業に支えられ、またそれを通して多くの子ども達が支えられていることを知りました。

こうした活動を続けていくためには若い世代もともに活動し、引き継いでいくことが必要だと考えます。



協力団体の声

ボランティアに参加してくださった皆さんは、「次は何をしたらいいですか？」と積極的に声をかけてくれたり、1人でいる子どもがいるとサッと隣に行くなど、周りを意識しながらの行動には感心することばかりでした。私たちスタッフも貴重な経験となり心温まる楽しい時間となりました。



担当者より

チム・チムセタ☆子ども食堂の皆さんは、「食育」の推進にも取り組まれ、調理実習を通して食の大切さを伝えています。参加者からも、食育に関する感想が寄せられ、団体の皆さんが大切にされている想いをしっかり感じ取っていただけたことを嬉しく思います。

体験後、子ども食堂についてもっと知りたいという声も届いており、体験から得た学びをこれからさらに深めていってほしいと思います。



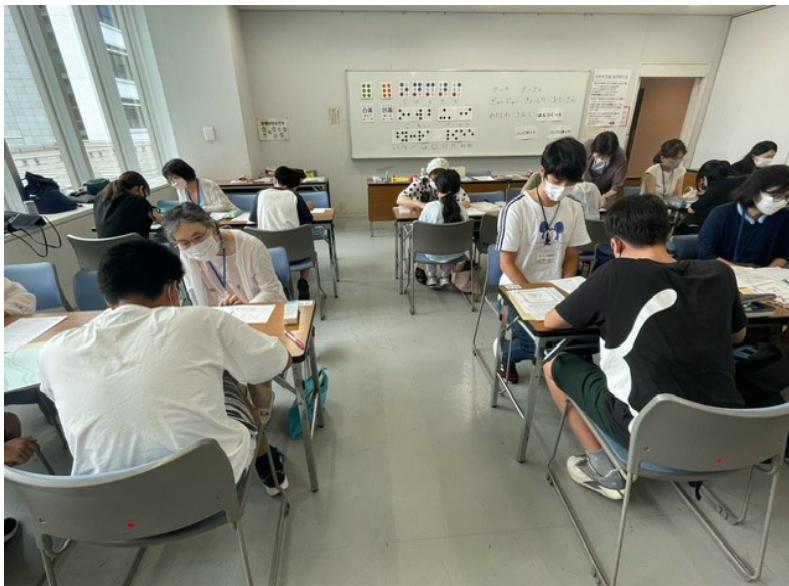
令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	てんてん絵本の会（点字付き絵本作り体験）
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 大宮区事務所
3	協力団体	てんてん絵本の会
4	活動年月日	令和6年7月30日
5	活動場所	桜木公民館 5階 講座室2
6	内容	世界にひとつだけの点字付き絵本を作る。

7 活動の様子

ボランティアグループ「てんてん絵本の会」のメンバーが学生ひとりひとりに、点字付き絵本の作り方を丁寧に教えてくれました。

点字付き絵本とは…透明な塩化ビニールシートに文章を点訳し、絵の部分は木工用ボンド等で絵の形を盛り上げて、手で触れて見える人も見えない人も一緒に楽しむことができる工夫をした絵本。



参加者の声

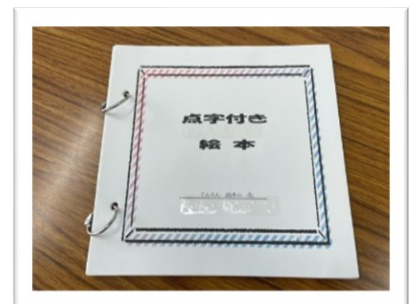
・目が見えない人がどんな所や物に点字が増えたら便利になるか、自分の普段の生活の中で探していきたいと思いました。

・街中にはまだ点字の整備が整っていない場もあると思うので、自分のできることがあったら手助けしたいと思いました。

協力団体の声

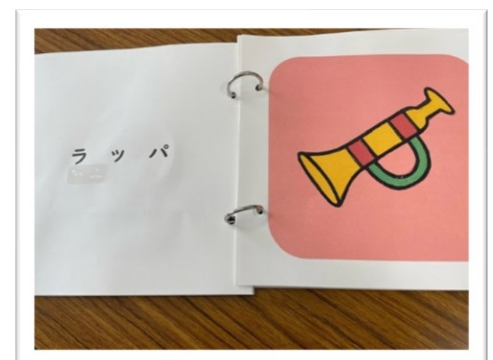
・参加した学生たちは、とても意欲的でした。点字についての説明も集中して聞いてくれて、点字器で点字を打ったり、ボンドで絵の形を盛り上げる時も楽しそうに取り組んでくれました。こんな短時間で、ここまでできたことに驚き、出来上がった時にはみんな疲れていましたが、ひとりひとりが自分で作った点訳絵本を嬉しそうに触っていました。

作成した点字付き絵本



担当者より

・部屋中に点字を打つ音が響き渡り、一生懸命取り組んでいる姿が印象的でした。「自分で作成した世界にひとつだけの点字付き絵本の体験」を通して、学生たちの胸に視覚に障害がある人のことを考えるきっかけづくりとして、今後の生活に活かしてもらえたらと思います。

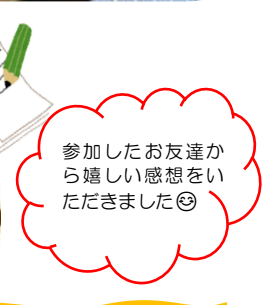
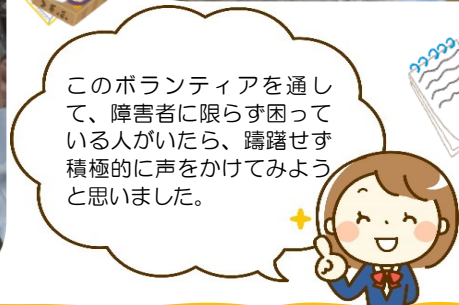
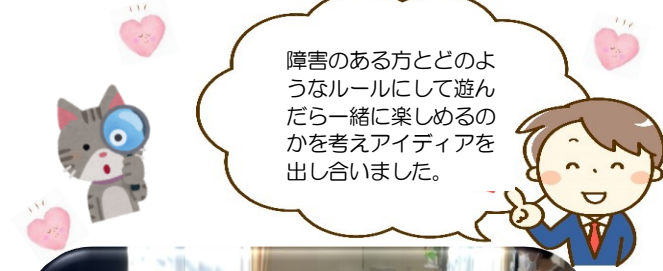
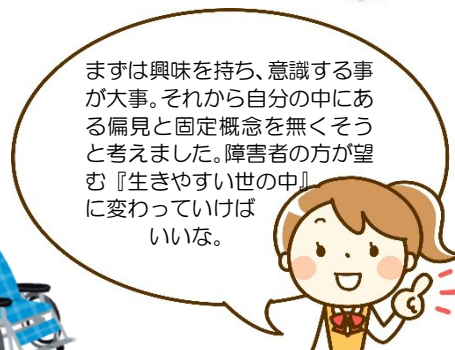


令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	『地域で暮らすさまざまな障害を持つ方々の生活を知ろう!』
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 見沼区事務所
3	協力団体	共生・多機能型デイサービス ダイアリー
4	活動年月日	令和6年8月3日
5	活動場所	共生・多機能型デイサービス ダイアリー（モア・リハステーション内）
6	内容	『当事者の話に耳を傾けよう』 『仲間になるために工夫してみよう』 ～障害を持つ方々とのワークショップ～

7 活動の様子

さまざまな障害をもった方々の生活の様子を知ることや、障害に対する考え方を広げるために、障害を持つ方々と一緒にワークショップを開催しました。



～協力団体代表者様からのコメント～

障害を持った方々とのたった2時間の出会いの中で、一生忘れることのない価値観を得ることができる企画だと感じます。実際にボランティアで携わることも大切ですが、受け入れる団体自体や、そこで働くスタッフたちが「障害」に対してどのような価値観を持っているか、話し方、関わり方に本当に隔たりがないかなど、子供たちと過ごす中でさまざまなことを学べる機会でもあります。今障害を持っていなくても遅かれ早かれ誰もが何らかの障害を持ちます。心の隔たりのない社会は子供たちの教育にあります。

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	緑地の保全活動体験
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 見沼区事務所
3	協力団体	さいたま市みどり愛護会 春里支部
4	活動年月日	令和6年7月29日/8月5日
5	活動場所	春里特別保全緑地
6	内容	自然を守る活動

7 活動の様子

『春里自然の森』の緑豊かな自然を維持するため、さいたま市みどり愛護会では、定期的に落ち枝や落ち葉の片付け、草むしり活動をしております。約40種類以上の野草や昆虫が生息しており、大自然の恵みを子どもたちへ残すために定期的に活動をしています。



落ち葉や木の枝は捨てられるものだと思っていたけど、腐葉土などの使い道があることを知りました。



🌸🌸🌸～協力団体代表者様からのコメント～🌸🌸🌸

この体験学習も今年で5回目。今回の参加者の中には5年連続の生徒もいて「このような保全活動を将来もやっていきたい」との感想を聞くことができた。連日の猛暑の中で安全に作業ができるよう、支部の会員も準備から当日の世話まで全面的に協力してくれ、休憩時間に用意した冷たいお菓子や梅干し、キュウリの漬物などは大好評！今回の体験を機に自然と共存が出来る生活に関心を持ち、何が出来るかを考えてほしいと思います。



令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	高齢者と一緒に絵手紙を描いて交流
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 中央区事務所
3	協力団体	ボランティア絵手紙さなえの会
4	活動年月日	令和6年7月26日
5	活動場所	デイサービスセンター
6	内容	デイサービスセンターの利用者と一緒に絵手紙を描く
7	活動の様子	

去年までは区役所の会議室で子どもたちが描いた絵手紙を、デイサービスセンターに展示してもらおうという絵手紙だけでの交流でしたが、今年は会場をデイサービスセンターに移して、利用者さんと小中学生の参加者が一緒に絵手紙を描くというプログラムにブラッシュアップしました。

最初のお題は夏野菜。利用者さんもテーブルに着いて一緒に絵手紙を描き、隣の人の絵手紙を見ながら「うまいねえ～」と話がはずみます。参加者が描いた作品を利用者さんにお披露目に行くと、あちこちから楽しそうな声が聞こえました。

次のお題はかき氷。ティッシュを小さく丸めて氷に見立て、筆で色をのせるとフワっとなじんで、あっという間にシロップをかけた美味しそうなかき氷ができあがり！

あずき抹茶にしたり、白玉をのせたりと、簡単にできて大好評でした。



終了後のアンケートには

「最初は緊張したけど、明るく話しかけてくださったのでこちらも笑顔になり、最後は楽しく話すことができた。今までは地域のお年寄りに挨拶されても、小さな声で挨拶していましたが、今回楽しく交流できたので、勇気を出して話をしてみたいと思う」



「地域の高齢化に、私たち若い人がもっと関われるような環境づくりをしていきたい」

などの声があり、ボランティア担当として嬉しい手ごたえを感じました。

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	子育てサロン「おおくぼ」
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 桜区事務所
3	協力団体	大久保地区社会福祉協議会
4	活動年月日	令和6年8月3日
5	活動場所	大久保公民館体育室
6	内容	地域のボランティアの方や子育て支援センターの先生と一緒に、子どもたちと関わり合いを持つ

7 活動の様子

子育てサロン「おおくぼ」は、毎月第1土曜日に乳幼児を対象に開催しております。8月のサロンのテーマは「夏祭り」でした。今回は中学生、高校生が5名参加しました！



最初は消毒薬で床を清掃し、子育て支援センターの先生が用意した遊具をセッティングし、子どもたちが楽しく遊べるようにします！
その後は子どもたちと安全に配慮をしながら、一緒に楽しく遊びました♪

参加者からの感想

・子どもたちと関わってわかったことを今後仕事に就いたときや学校で行っている探究学習にも活かしていきたいです。

・子どもたちは、思ったより言葉が通じたり、走るのが早かったり、体力があったりして、その他にも驚くことがいっぱいあって、とても良い経験になりました。



担当者より

毎月保護者の方々や子どもたちが参加する子育てサロンに学生さんたちが加わり、子どもたちも学生さんたちも笑顔あふれる活動となりました。

そして今回の活動を通し、ボランティアへの気づきや、参加者自身の興味のあることや将来のことについて考える方が多くおりました。これからも楽しみながら活動に参加し、良い気づきを得ていただけたらと思います。

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	社会福祉協議会 浦和区事務所
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 浦和区事務所
3	協力団体	さいたま市障害者協議会、一般社団法人インクルラボ
4	活動年月日	令和6年7月26日
5	活動場所	浦和ふれあい館～イオン北浦和、北浦和西口商店街
6	内容	車いすユーザーや弱視の方と一緒に外出し、交流する
7	活動の様子	



車いすを押すのはドキドキです。ユーザーの竹内さんと楽しくおしゃべりしながらイオンへ！



弱視の福迫さんに、どんな商品がどこにあるのかをガイド。褒められた子、うれしかったそうです。



3人で力を合わせて段差に挑みました！

★障害のある方と一緒に買い物体験★



バーコード読取場所が遠いなあ、、
「私がお手伝いします！」



「お手伝いすぎない！できることは自分でやりたい」と福迫さんから教えられました。



商店街の八百屋には、産地やお買い得などの情報が！野菜の大きさや色も伝えていました。

事前に座学でお二人の生活をお聞きました。道中では参加者の学校の話やゲストへの質疑などで盛り上がり、すっかり仲良しに。自然と助け合いが生まれたことが印象的です。「特別なことじゃないと思った」「高校生になったら介助してみたい」「できることは手伝わず、困った時だけ助けたい」という感想が寄せられ、ゲストの気持ちがしっかり伝わっていました。

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	古切手の整理
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 南区事務所
3	協力団体	埼玉県ユニセフ協会
4	活動年月日	令和6年7月30日、31日
5	活動場所	コーププラザ浦和
6	内容	古切手の整理

7 活動の様子

埼玉県ユニセフ協会のプログラムでは古切手の整理に加えて、外国コインの国別仕分けやユニセフ学習を併せて行っています。例年実施しているプログラムであり、今回も多くの方のお申し込みをいただきました。



～参加者の声～

「世界には困っている方がたくさんいることを知ることができた」や「私たち学生にもできることがあるんだ」などの声があり有意義な活動になったようでした。



～担当者より～

当日は皆さんとても真剣に、プログラムに取り組まれていました。活動後には「自分にできることはないか考えたい」や「少しでも役に立つような活動をしていきたい」とボランティアについて前向きな意見をいただくことができ、当プログラムが実施できたことを大変うれしく思います。



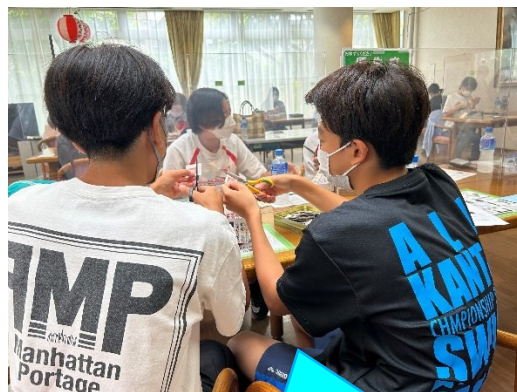
令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	古切手の整理・雑巾縫い
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 緑区事務所
3	協力団体	三室地区社会福祉協議会
4	活動年月日	令和6年8月14日
5	活動場所	グリーンヒルうらわ ぎんもくせい食堂
6	内容	古切手の整理・そうきん縫いをとおしてのボランティア体験をとおしての世代間交流

- 7 活動の様子
 三室地区社会福祉協議会の「ボランティア体験サロン」は、地域の方ならだれでも参加できるサロンです。古切手の整理やそうきん縫いの作業をとおして、他者との交流を楽しむことができる活動となっています。
 今回は23名の学生が参加しました。学生とボランティアとのたくさんの交流が生まれ、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました！



古切手の整理



そうきん縫い



いろんな種類の切手があるね！



<協力団体より>

- ・学生が熱心に活動している姿をみることができ嬉しかった。
- ・今回の活動をきっかけに、ボランティアに少しでも興味を持ってくれたらうれしい。また自分たちの住む地域についても関心を持ってほしい。

<参加者より>

- ・普段話さない年代の方と話すことができ、楽しかった。
- ・やりがいを感じることができた。あっという間に時間が過ぎた。
- ・小さなことでも丁寧に、人のためになることをしたい。

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	絵手紙グループふじの会
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 岩槻区事務所
3	協力団体	絵手紙グループふじの会
4	活動年月日	令和6年8月22日
5	活動場所	岩槻駅東口コミュニティセンター
6	内容	絵手紙の作成

7 活動の様子

絵手紙グループふじの会は、特別養護老人ホームで生活をする高齢者や地域の1人暮らしの高齢者の方々へ、絵手紙を贈る活動を長年続けているボランティア団体です。

今年のさいたま夏のボランティア体験学習事業では、10名の参加者が集まり、描き方を教わりながら、本物の野菜を見本に絵手紙を作成しました。また、絵手紙グループふじの会が普段の活動で絵手紙を贈っている「特別養護老人ホーム松鶴園」の職員の方にお越しいただき、施設で生活をする高齢者の方へ向けて、それぞれが作成した絵手紙をお渡ししました。

本物の野菜をじっくり見ながら、筆を動かします。



個性豊かで温かみのある作品が完成しました！

完成した絵手紙は、特別養護老人ホーム松鶴園で生活をする高齢者の方々へお渡ししました。



参加者からの感想



・ふじの会の皆さんは、とても知識が豊富で、いろいろなことを知れるきっかけになりました。話しやすく、時間が過ぎるのがあっという間に感じられました。

・また誰かに絵手紙を贈る機会があったら、今回のように描いてみたいです。喜んでもらえると思いました。



担当者より



絵手紙グループふじの会の皆様と特別養護老人ホーム松鶴園の職員の方にご協力をいただき、和気あいあいとした雰囲気の中での体験となりました。

今回の体験が参加者の皆様にとって、身近な地域のボランティア活動や福祉施設への理解や関心を高めるきっかけとなっていましたら幸いです。

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	聞こえない方との交流・手話を学ぶ
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 地域福祉課
3	協力団体	さいたま市聴覚障害者協会 さいたま市手話通訳問題研究会
4	活動年月日	令和6年8月20日
5	活動場所	浦和ふれあい館
6	内容	聞こえない人の生活を聞く・手話を学ぶ・伝言ゲーム

7 活動の様子

【当日の様子と参加者の感想】



「手話」や「筆談」は身近に感じていましたが、「空文字」や「口話」を実際に体験してみて驚きと感動を覚えました。また、手話は手で表現することが大切だと思っていたけど、表情でも表すことも重要だと気づきました。色々な工夫をして生活されていることにも感銘を受けました。

たくさんの人に手話を知ってもらって誰でも楽しく過ごせるようになって欲しいし、みんなに自分の知っている限りの手話を教えて行こうと思います。



耳が聞こえない人と話す機会があったら、今回の事を活かしていきたいと思っています。